

平成 29 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①社会の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる力の育成を目的として、授業改善をさらに進める。</p> <p>②高大接続を見据えた教育活動の展開、中・高間の教育活動の連携を進める。</p>	<p>①生徒の主体性をより引き出す授業の実践に向けて、組織的な授業改善の進展を図る。</p> <p>②高校改革に示された中高大連携型教育の具体的な取組について検討を開始する。</p>	<p>①より精度の高いルーブリック（到達度達成表）を作成する。</p> <p>②横浜国立大学教育学部をはじめ他の学部との連携を深化させる。</p>	<p>①より精度の高いルーブリックを作成したか。</p> <p>②横浜国立大学教育学部をはじめ他の学部との連携を深めることができたか。</p> <p>③生徒による授業評価項目（生徒主体）の肯定項目の「かなりあてはまる」の回答率4割以上か。</p>					
2 生徒指導・ 支援	<p>①部活動の充実をさらに図り、リーダーシップと、協働し支える力を育む。</p> <p>②生徒一人ひとりに応じた支援を行う。</p>	<p>①部活動の高い加入率を維持し、さらに活性化を図る。</p> <p>②学校行事等を通して、生徒一人ひとりの高校生活の満足感を高めることを行う。</p> <p>③生徒の個別支援に向け組織的対応を進展させる。</p>	<p>①生徒の活動が充実できるよう環境整備を行い、校内アンケートによる意識調査等で生徒の意欲をより引き出す。</p> <p>③生徒の個別状況については、担任、学年、養護教諭、教育相談コーディネーター、スクールカウンセラー、管理職等、情報共有をし、適切に対応する。</p>	<p>①学校生活アンケートの「部活動に満足しているか」の肯定項目の割合が、8割以上か。</p> <p>②学校生活アンケートの行事等の項目「体育祭」「光陵祭」の肯定項目の割合が8割以上か。</p> <p>③生徒の個別支援体制がうまく機能しているか。</p> <p>④「今年は生徒と向き合う時間が増えた」という教員が8人以上いるか。</p>					
3 進路指導・ 支援	<p>①生徒一人ひとりが、能力や特性を活かして社会に貢献できるようキャリアガイ</p>	<p>①生徒に進学について真剣に考えさせる。</p>	<p>①キャリアガイダンス、進路に係る面接の更なる充実を図り、生徒の進路意識をより高める。</p>	<p>①進路目的を明確に持ち、その第一志望校を受験した生徒の割合は、75%以上か。</p>					

		ダンス等の充実を図るとともに、希望する進路実現に向けた支援をおこなう。	②学びたい大学を見すえ、その大学を第一志望とするよう支援する。	②入学当初において国公立志向の生徒が多いので、その希望を継続させるよう支援をする。	②第一志望の大学への進学を実現するため、さらに進学準備にあてる生徒が一定数存在する。(現役合格者数により数値が変わるので、目標数値はない)					
4	地域等との協働	①地域との連携を推進することで、生徒の社会性や協働する力を育む。	①地域に信頼される生徒であるので、さらに信頼を高められるよう、地域との連携を図る。	①近隣学校との交流事業や、地域貢献活動を継続実施し、深化させる。	①参加した生徒自身が、自己肯定感、協働、活動の楽しさ等の満足感を獲得することができたか。					
5	学校管理 学校運営	①職員全体が、質の高い授業を行うために、施設、防犯等に心を配り、生徒が安心して通うことのできる、安全で楽しく、心温まる学校環境づくりを推進する。	①不祥事防止に努める。 ②耐震工事に向けた年度の工程を遅滞なく進める。	①継続して不祥事防止に努める。 ②耐震工事で教育活動に支障のないよう、関係機関との調整を行い、安全安心で快適な環境づくりに努める。	①不祥事防止会議を年間で5回以上開催できたか。 ②耐震工事が、教育活動に支障なく進められていたか。					